

## 令和2年度 第4回高知県環境審議会総合部会議事録

日 時：令和3年3月24日（水）13:30～15:30

場 所：高知会館「飛鳥」

出席者委員：一色部会長、長門副部会長、石川委員、西村委員、常川委員、横川委員

事務局：林業振興・環境部部長、林業振興・環境部副部長、環境共生課、新エネルギー推進課、環境対策課

### 1 開会

林業振興・環境部部長あいさつ

### 2 会議録署名委員の指名

西村委員、常川委員を会議録署名委員として指名

### 3 議題

#### （1）高知県環境基本計画第五次計画の策定について

高知県環境基本計画第五次計画案の策定について、事務局から説明。

#### 一色部会長

13ページと15ページのイラストについて、パブコメの中で84の森のイメージに見えないとの指摘もありましたが、地面の色が土の色ではなく、緑にして、全体として緑が強調されるイラストの方が良いのではないのでしょうか。そうすれば、84の森のイメージになるようになるのではないのでしょうか。

#### 事務局（環境共生課）

可能な限り対応させていただきます。

#### 常川委員

コラムの標題について、他の部分と比べてフォントが薄くて弱い感じがするので、コラムの標題の見せ方について、目立つように工夫した方が良いと思います。また、コラムに通し番号をつけていただきたいです。

91ページの84プロジェクトには住所が記載されていますが、計画に住所は入れない方が良いのではないかと思います。HPの参照がこの部分だけについているので、入れるのであれば他のコラムにも入れたら良いのではないかと思います。

#### 石川委員

17ページの目指すべき姿について、文字が小さく見えません。見えにくくなるかもしれませんが、横向きにして、文字が読めるようにしていただきたいです。

#### 長門委員

93ページの推進体制について、県の事務局が環境計画推進課になるとの説明がありましたが、絵の中だけではなく、本文中にも明記した方が良いのではないかと思います。

また、問合せ先として環境計画推進課が窓口なのであれば、連絡先を書いて質問、意見、提案を募集できるようにすると、「もう決まりました」ではなく「県民のみなさんの意見をきいて改善していきます」という姿勢が見て分かるようになるのではないのでしょうか。

県民から問い合わせができ、意見が言えるような仕組みを設けていただけたらと思います。

### 横川委員

県民の方は1ページから順に読む人は少ないと思います。自分の関心のある分野から読んでいくことを考えると目次の印象が弱いです。戦略や各章のテーマのフォントを調整して見やすく変えてもらえば良いと思います。

コラム一覧も印象が薄く感じます。本文中にひっそり載っている印象があるので、このようなものを載せましたというようなアピールをしてほしいです。

### 一色部会長

気候変動の影響への適応について、どういう影響に対して、どういう適応をするのかの内容の記載がありませんが、県としてはどう対応していく予定なののでしょうか。

### 事務局（新エネルギー推進課）

地球温暖化対策実行計画の中で適応について記載しています。例えば、農業の分野の水稲においては、高温耐性品種の栽培、果樹においては、みつ症等に対する品種改良など、各分野ごとでそれぞれ取り組んでいる内容をまとめさせてもらっています。

### 一色部会長

この部分だけが他と比べて抽象的で、具体的な施策が何も書かれていない状態となっています。地球温暖化対策実行計画の中に記載しているということはじっくり読めばわかりますが、ぱっと見た人はどこにも書いていないじゃないかと思うと思います。概略を記載し、適応策としてどのように取り組んでいくのかが分かる表現をしておいた方が良いと思います。

### 横川委員

42 から 43 ページの各主体の主な役割は、行政までしか書かれていません。この表現では、教育関係者が見たときに、教育機関は関係ないと思われるかもしれません。教育機関や研究機関は、全ての項目に関わっていると思いますので、スペース的に可能であれば、他の項目と同じようなことにかまいませんので、記載した方が良くかなと思います。

### 常川委員

13 ページの図に関して、15 ページや 17 ページの図は、イラストの説明が図の中にあるので、同じようにそれぞれのイラストが何を示すのかの説明を入れてもらえると良いと思います。

### 一色部会長

奥付はつけるのでしょうか。

## 事務局（環境共生課）

つけます。

## 事務局（林業振興・環境部長）

問合せ先や連絡先の記載については、奥付に記載する方が見やすいと思いますので、そういった形で対応させていただきます。

## 常川委員

背表紙にも、計画名をいれるよう対応をお願いします。背表紙があるだけで手に取ってもらえるきっかけになります。

## 一色部会長

内容に関することではないのですが、気がかりなことが2点ありますので、質問します。

温室効果ガスの排出ゼロとカーボンニュートラルといった表現がありますが、この2つは微妙に意味が違います。温室効果ガスには、二酸化炭素だけではなくメタンやN<sub>2</sub>Oも含まれます。こうした温室効果ガスの発生源は分かっており、対策が必要です。カーボンニュートラルは、二酸化炭素だけを対策することになり、他の対策が抜け落ちてしまっているのではないかとこのことを危惧しています。二酸化炭素の排出抑制というのは、絶対にしなければならないことですが、その他の温室効果ガスの対策はどうするのか疑問に思う人がいるかもしれません。菅総理大臣の所信表明演説をきくと必ずしも二酸化炭素だけのことを言っているのではないと思うので、国としても二酸化炭素の排出抑制をしていくが、他の温室効果ガスの抑制もしていく方針だと思います。メタンやN<sub>2</sub>Oの排出抑制に対しては、高知県としても国の動向を注視しておく必要があると思います。

高知県で再生可能エネルギー発電を進めようとする、基本的には風力発電と太陽光発電になると思われます。小水力発電は、小規模なことと送電網からの距離の関係で消費地の近くにある必要があり、消費地に人が住んでいないといったことで、資源力はあるが進めることは厳しいと思います。また、自然環境や景観の観点から必ずしも風力発電と太陽光発電を進めようとならないケースもあります。この折り合いについてどの程度まで許容できるのかおおまかな試算をすべきではないでしょうか。

今後の国の施策において再生可能エネルギーの発電比率を上げるために、設置に関する規制緩和が行われる可能性があります。国が規制緩和をすると、県も緩和して進めていくのでしょうか。それとも、県は独自に環境を守るために規制するのでしょうか。この判断は、非常に重要になってくると思います。県庁内や審議会、環境アセスの観点だけでなく多くの人を巻き込んで議論しないと妥協点を見いだせない問題だと思います。利害関係者が意見交換をして妥協点を見いだすリスクコミュニケーションが重要となりますが、計画の中には、リスクコミュニケーションという言葉がどこにも入っていません。今後の施策においては、住民との話し合いだけでなく、利害関係者も入って話し合い、妥協点を見いだすことが重要と考えます。小規模な自治体では、こういった事例がありますが、県として実施した事例は知らないで、本計画の実施の中で妥協点を見出すという先進例を作っていただきたいです。

## 事務局（林業振興・環境部長）

国は、二酸化炭素だけでなく、その他の温室効果ガスの対策についても、今までの延長線上で取り組まなければならないという方向性だと認識しています。二酸化炭素対策だけに固執しない、総合的な施策を進めていきたいと思えます。

再エネの推進については、再エネ 100%を新エネルギービジョンにて唄っています。県内で賄える電力は、県の対応が進めば再エネ 100%は可能と考えていますが、日本全体で見れば本県は、供給側となると考えられます。その場合、メインとなる風力発電、太陽光発電の大規模発電所の設置についてどれだけでいいのかは景観保全の観点からかなり制約的になってくるだろうと考えています。あらゆる開発は地域と調和のとれたものであるべきと考えており、再生可能エネルギーについても、地域との対話を通じて利害関係者とのリスクコミュニケーションを図りたいと考えています。特に、風力発電は大規模な計画がいくつかあり、事業者も環境アセスメントの手続きを進めています。県としても、地域にどのような影響があるか説明をすることを要請しながら、再生可能エネルギーを普及していきたいと考えています。

5年間の取組の中でも様々なご指摘を受け改善しながら進めていきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

## 長門委員

計画策定後の PR の話となりますが、この計画の普及啓発、県民に対する情報発信についての記載がありますが、具体的にどんなことをやろうとしているのでしょうか。

まず、計画のデータは県の HP で見れるようになっていっているのでしょうか。紙より電子媒体で見ることが多いため、HP で見れるようにしていただきたいです。

また、どういふ方法で HP に誘導するかが問題だと思えます。県民の皆さんは、HP に掲載しているから見るわけではないと思えます。PR に対する戦略について、具体的にどんなことをやるのでしょうか。

計画の進捗管理をしていくと思うので、その中で情報発信に関する項目についての進捗状況も報告していただいた方がよいのではないのでしょうか。

## 事務局（環境共生課）

計画の推進については、えこらぼを核として普及していくことを考えています。今回策定しました環境基本計画の範囲は、非常に広いので、テーマに特化した視点で伝えていき、様々な取組とセットで PR していくことを考えています。

本計画にも記載されている希少動植物や外来種の普及啓発については、既に作成しているパンフレットの展示等を行っています。このようなイベント等も活用しながら普及啓発していきたいと考えています。より具体的な方法については、環境計画推進課で幅広く取り組む予定となっています。

## 石川委員

推進体制に関して、環境計画推進課の中にカッコ書きでえこらぼと記載しているが、えこらぼは、自然共生社会に関する部分だけで、エネルギーや循環型社会については、引き続き、県の担当部署と環境計画推進課との連携という理解でいいのでしょうか。

## 事務局（新エネルギー推進課）

現在の新エネルギー推進課の課名が変わり、環境計画推進課となります。

環境計画推進課が所管する事業が環境基本計画、地球温暖化対策実行計画、新エネルギービジョン、カーボンニュートラルの取組を全部まとめて実施します。計画の推進については、当課で行い、具体的な事業は環境に関する3課で協力して行います。

特にカーボンニュートラルに関しては、全庁あげて取り組むように庁内にプロジェクトチームを設置する予定です。

## 一色部会長

県のHPをよく利用しているが、組織再編があるたびにリンクが消えてしまうので困っています。今どうなっているのかは分かりますが、過去に遡ると見れなくなります。検索機能で探してくださいということになっているが、いらぬものまで出てくるので、サイトマップを作った方がよいのではないかと感じています。

## 常川委員

過去の環境基本計画やデータ収集をしたいときに、資料室には原本の保管はあると思うが、電子的なデータについてもあるのでしょうか。

全庁的に情報を集めてアーカイブしていくことを検討する時期が来ていると思います。

## 事務局（環境共生課）

全庁的に計画を載せているページはありますが、更新はされていません。

## 一色部会長

それでは、環境基本計画案に関する審議はこれにて終了させていただいてよろしいでしょうか。

（異議なし）

## 一色部会長

本日の審議で出た意見のほとんどは、微修正なものでしたが、各役割主体の部分については大きな修正になりますので、この点については事務局で修正案を作ってください、メールで提示し、最終確認していただくという形にしたいと思いますがよろしいでしょうか。

（異議なし）

## 一色部会長

ご確認いただきましたら、その案を部会の答申案として議決し会長に報告した上で、県へ答申することとします。

## （2）高知県環境基本計画第五次計画ダイジェスト版について 石川委員

10ページのCO<sub>2</sub>の2は、下付けにできないでしょうか。

また、海の CO2 吸収源としては、海藻だけではないので、これだけを強調するのはいかがでしょうか。

8 ページ右下と 6 ページ真ん中のイラストが似ているので、紙面が限られている中で似たようなイラストを使うことは避けるよう工夫ができないでしょうか。

#### 常川委員

どれくらいの印刷部数で、どこに配布するのか決まっていたりするのでしょうか。

#### 事務局（環境共生課）

県内の学習機関に配布していく予定です。3000 部で予算要求をしていましたが、実際の前算は少し減りました。必要であれば増刷等の対応をしていきます。

#### 常川委員

この冊子を見て行動に移して欲しいという説明がありましたが、それについてもう少し工夫できたらいいなと思います。例えば、チェックリストを作り、最後のページで 1 年間でどれだけチェックできたかを見ることができるようになるとコミュニケーションがとれると思います。

デザイナーの方の意見もあると思いますが、自分がどんな行動をしたのかを記載できるようなコメント欄等があればいいなと思いました。

#### 一色部会長

この冊子には、計画の対象年度が記載されていないので、記載していただければと思います。

また、全体的にイラストが暗いことが気になります。高知県は、日照時間が長い県なので、風景をいれているのであれば、空はもっと明るくしてほしいです。空があるのに、太陽がないので、太陽も書いていただきたいです。

また、魚の絵が気になります。アユは、もう少しスリムで小顔です。もう少しアユだということが分かるイラストにしてもらえればいいなと思います。

#### 常川委員

1 から 2 ページの森のイラストが全て針葉樹ばかりなので、広葉樹も入れていただければ良いと思います。

#### 石川委員

1 から 2 ページにある棚田のイラストについて、位置があまりよくないので、もう少し下の方にいられた方がいいのではないかと思います。

サンゴのイラストは、おそらくテーブルサンゴと思われそうですが、もう少しイメージが湧くようにならないか検討していただきたいです。

森林の多様性を表現するといった点で、追加で修正を加えるのであれば、1,200 から 1,800m 付近にはブナの自然林も残っているため明るい緑とシイ、カシの 2 次林を表現してほしい。表現としては、ブナの自然林とシイ・カシ二次林の樹幹は丸く、スギ・ヒノキ植林は三角にして、ブナ林は明るい緑、シイ・カシ二次林とスギ・ヒノキ植林を濃い緑にすると実際のイメージに近くなります。

## 長門委員

ダイジェスト版の表紙には森が入っているが、本編の表紙には、84のロゴだけなので、違和感があります。ダイジェスト版のように、自然が想像できるものがあつたほうが良いのではないかと思います。

また、この冊子は環境基本計画のダイジェスト版なので、その部分を強調することが必要なのではないのでしょうか。表紙を見たときに、これが何の資料か明確に分かると良いと思います。

4ページの内容について、地球温暖化にブレーキをかけるアクションをしてもらいたいということがより重要だが、地球温暖化が進んでいるのでそれに併せましょうということが強く出てしまっている気がします。本編には、省エネなどが役割にもあるので、地球温暖化にブレーキをかけるようなアクションをしてほしいということが重要なメッセージだと思います。

推進体制のところにあこらぼのQRコードがありますが、県のHPのQRコードを入れ、本編へ誘導する仕組みにできたら良いのではないかと思います。

## 一色部会長

表紙にダイジェスト版と書いていますが、行動に移してもらいたいことをメインに整理したので、ダイジェスト版とは違うと思います。県民のみなさまへのお願いといった趣旨のタイトルに変えた方が良いのではないのでしょうか。

## 常川委員

9ページと10ページにある計画の推進体制をもっと大きくさせ、それぞれの人がどんなことをやるのかをもう少し詳細に書いた方が良いのではないのでしょうか。その場合、地域循環共生圏の説明を簡略化させて、スペースを確保し推進体制をもっと表現したら良いと思います。

## 一色部会長

私も推進体制のイラストが小さいと感じました。

## 常川委員

推進体制の表現については、「それぞれができることをやっていきます！」ではなく、「みんなできることをやっていきましょう！」というような呼びかけを行う表現が良いと思います。

## 長門委員

「編集・発行」という表現は、問い合わせなどをしにくい印象があるので、「問合せ先」に変更した方がアクセスしやすいのではないのでしょうか。

## 常川委員

9ページに記載しているバイオマスの図について、木質ペレットだけでなく、間伐材から薪といった利用法を追加したり、木材利用の一例として家だけでなく家具等示したりすると、木製品を使うイメージを拡げて伝えられるのではないのでしょうか。

#### **事務局（環境共生課）**

提案いただきありがとうございます。時間上の制約はありますが、できる限り反映していくようにしていきます。

#### **一色部会長**

できる限りの反映をお願いします。以上で第4回総合部会を終了します。